

モンゴル健康科学大学との教員・学生交流

国際課 国際コーディネーター 村澤 普恵

8月19日から22日にかけて、苛原稔医学部長を団長とする医学部訪問団がモンゴル健康科学大学（ウランバートル）を訪問しました。

モンゴル健康科学大学との交流は、2005年の医学部間交流に始まり、2007年に大学間協定締結後大学間交流に発展しています。医学部間の教員・学生交流は、2006年に訪問団がモンゴルを訪問して以来、毎年交互に訪問し合う形で交流を続け、今回で7回目となりました。

このたびの訪問は、昨年、バトバートル・ゲンチン新学長の下新体制になり、また本年6月モンゴル健康科学大学が、英語名称を Mongolian National University of Medical Sciences に改称して以来初めてのことでした（旧：Health Sciences University of Mongolia）。

8月20日には、苛原医学部長が、バトバートル学長、アマールサイハーン副学長、ムンフバヤルラフ医学部長と、それぞれ今後の両大学の交流について協議し、徳島大学が、2017年に新しく完成するモンゴル健康科学大学附属病院の運営に協力することや留学生受け入れ等で合意しました。その後、教員と学生によるシンポジウムが行われました。21日には、徳島大学卒業生の同窓会（MAUTA）とミーティングをし、同窓会メンバーと更に緊密に連携し両大学の交流を深めて行くことなどが話し合われました。

来年は、交流開始10年目となる節目の年となるため、バトバートル学長を徳島に招へいし、記念シンポジウムを開催する予定です。



徳島大学訪問団とモンゴル健康科学大学教員による記念撮影

苛原稔医学部長（左から7人目）とアマールサイハーン副学長（左から8人目）を囲んで



モンゴル健康科学大学医学部学生との交流

藪野淳也君、塚本大志君、吉田規朗君、宮本和恵さん、大久保綾香さん、小和田実君（前列左から）



モンゴルの大草原でラクダに乗る宮本さん



シンポジウム・オープニングセレモニーで阿波踊りを披露する

小和田君、藪野君、塚本君（左から）



シンポジウム・オープニングセレモニーにてアマールサイハーン副学長、バトバートル学長、苛原医学部長（左から）